

# 行政相談制度活用して

## 総務省京都 評価事務所 細見小で出前教室

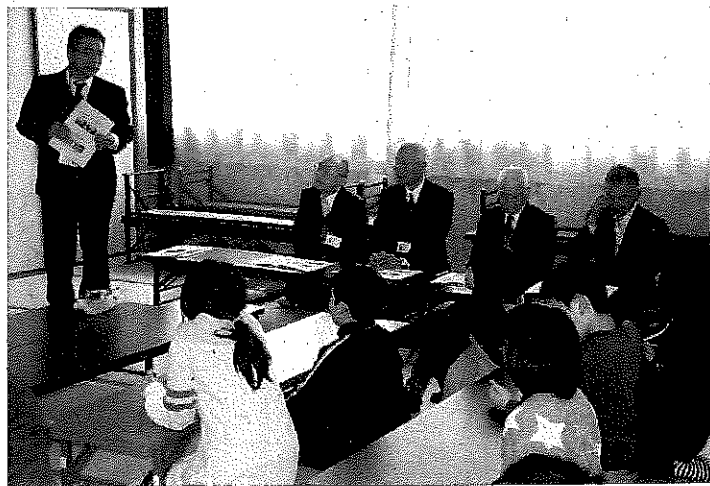
福知山市三和町千束の細見小学校（公庄晴美校長）で27日、総務省京都行政評価事務所（京都市）の出前教室があった。6年生12人が「行政相談制度」の意義などについて教わり、住民からの相談をきっかけに壊れた街灯が修理された事例があることを知った。

国、府、市などの行政への要望や苦情などを住民から受け付ける行政相談制度を広く知ってもらうと、同事務所が地域の行政相談委員と一緒に開催している。

同事務所の小松琴恵・総務課長が、行政相談は「役所の仕事について、分からない、困った、納得できないというときに相談すること」と説明した。

このあと、総務大臣の委嘱を受け、定例相談などで住民から直接相談を受けている行政相談委員の林秀俊さん、中道正さん、井上正暉さん、古寺忠夫さん、安達賢治さんの5人が、相談事例を紹介した。

「みんなが住み良いまちをつくることを考えているのが行政相談委員です。気が付いたことがあれば、先生を通してでもいいので教えて」と呼びかけた。



地元の行政相談委員が事例などを話した